



## 1. 「カリキュラム・マネジメントの落とし穴！」って何？

### —Q-Links 主催第3回 CD プロジェクトに参加しました—

第21号に引き続き、Q-Links 主催の CD プロジェクトの様をお届けします。

第3回 CD(Curriculum Development:カリキュラム開発)プロジェクトでは、「うまくまわっているカリキュラムはココがちがう!」をテーマに、カリキュラムマネジメントが成功している時、そこでは何が起きているのか、違いはどのようにして生まれたのかについて考えました。(Q-Links HP より一部抜粋)

プロジェクトは、4つのグループに分けられ、10月から12月の3ヶ月の間に、STEP1～STEP3の計3回行われました。本学からは、泊真児(総合文化学部)、玻名城政弘(教学課)の2名が参加しました。

それぞれの STEP で行われた内容は、次のとおりです。(Q-Links HP より一部抜粋)

#### STEP1:知る(10月21日) ゲストスピーカーによる話題提供

##### 1) 沖 清豪 早稲田大学文学学術院 教授

「カリキュラム・マネジメントの現状と課題—若手?教務系教員として」

##### 2) 吉崎 誠 関西外国語大学 事務局 次長

「カリキュラム・マネジメント(CM)をうまくまわすためにどうやっているの?～これまでの職員経験を踏まえて～」

#### STEP2:探る(11月12日) ワークショップ

ダイアログ(対話)を基本に、メンバーが互いにアイデアを出し合うことを通じて、カリキュラムマネジメントの実践における課題について、その特質を深める。

#### 「Q-pantry」(Web 掲示板)でのダイアログ(11月から12月上旬)

STEP3の発表に向けて、参加者が、自由に意見を交わし、相互のやりとりができる交流の「場」。

#### STEP3:創る(12月9日) プレゼンテーションテーマ「カリキュラム・マネジメントの落とし穴」

チーム発表と、他のメンバーからのフィードバックにより、アイデアをよりブラッシュアップするとともに、全体での共有知化を試みる。

各グループの成果は、下記の URL から確認できます。(http://www.qlinks.kyushu-u.ac.jp/util/util3\_read.php?kind=&word=&page=&B\_Code=642)

### 【参加記】 Q-Lab 第3回 CD プロジェクトに参加して(泊真児・総合文化学部)

「カリキュラム・マネジメント」をテーマに、ギュッと中身が詰まった濃い3ヶ月間を体験しました。事務局の方々が用意して下さった数々のワーク、ダイアログは、初対面の者同士を引き込み和ませる技術として、非常に参考になりました。

職務上の立場や抱えている課題は違っても、学生のために大学を改善・向上したいと願う一点は共通のはずです。研修参加で再認識できた、教職員の連携、理念や目標の共有、日々の積み重ねと振り返りを、少しずつでも実践していければと思っています。



## 2. 「Q-conference2011」に参加しました (Q-Links 主催)

### —Q-Links 主催第3回 CD プロジェクトに参加しました—

2月18日(土)、九州地域大学教育改善FD・SDネットワーク(Q-Links)主催の「Q-conference2011」に参加しました。

今回開催された「Q-conference2011」は、Q-Linksのメンバーシップ及び大学教育改善に関わる教職員や学生が一堂に集まり、出会い、知り合い、発見し合っていく場として企画されたものです。

主なプログラムは、次のとおりです。

#### 1. 「はじめての Q-Links」 ランチタイムセッション

#### 2. 「ポスターセッション」

仲間の知恵や工夫を知り合う場、組織的な学習・教育改善に資する取り組みを発表する場、各大学の取り組みを発信・共有し、そこから Q-Links メンバーシップの交流の場として、20大学 39事例のポスターセッションが展開されました。

沖縄国際大学からは、次のとおり発表しました。

「教職協働に基づくFD活動の展開」(総合文化学部・藤波潔)

「ビジョンの響有～つながりから価値を生み出す～」(教学課・坂名城政弘)

\*ポスターセッションのデータをお求めの方は、教学課まで([aafchr@okiu.ac.jp](mailto:aafchr@okiu.ac.jp))お問合せ下さい。

#### 3. 「Q-LabOD セッション」

「コンフリクトー対立と葛藤ー」をテーマに、2011年7月～9月にかけて計3回開催されたプロジェクトの内容や成果を紹介しました。その後、ODプロジェクトについて振り返り、ODプロジェクトの価値や可能性について探りました。

\*ODプロジェクトとは？

沖縄国際大学「FD通信第19号」をご覧ください。

<http://education.okiu.ac.jp/UserFiles/File/FDtsin/fdtsin19.pdf>

#### 4. 「企画セッション」

「Q-Link 発足前の自大学や自身の状況・様子」、「Q-Links 発足後の自大学や自身の変化」、「Q-Lab に参加した感想とその価値」について意見交換を行い、外側からの視点として、文部科学省の方に「Q-Links がどう見えるか」、「登壇者の話を聴いてどう思うか」、「高等教育政策との関連性」などについてコメントがありました。

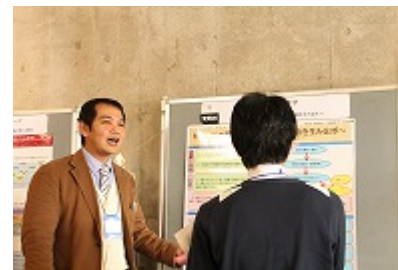
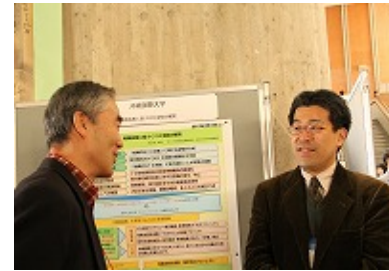
また、本セッションでは、藤波潔(総合文化学部・准教授)もパネリストの一人として登壇し、Q-Links と関わり、沖縄国際大学でどのような変化が起こったのかを発表しました。

## 2. 【寄稿】他大学から見た「沖縄国際大学」のFD活動ー1ー

藤波先生と「企画セッション」に登壇した福岡教育大学の小菜辰郎さん(教育支援課所属)からメッセージが届きました。

私は、沖縄国際大学の活発なFD・SD活動の様子を非常にうらやましく感じております。教職員の方々が、常に学生を中心に据えて考えた研修会を実施したり、授業改善に向けた方策を模索したりしている姿勢は、FD・SD活動の充実が求められている本学にとって、参考にすべきものであると思っております。

最後に沖縄国際大学とこのような関わりを持つことができたことに感謝すると共に、今後とも末永いお付き合いをお願い申し上げます。



!「学びの責任」、「出口戦略」について深く考えるきっかけになりました!